

Service News サービス・ニュース

リサイクル本はご自由にお持ち帰りいただけます

毎月休館日の翌日!

※2月は18日(火)

場所 2F 階段脇

保管期限の切れた雑誌、汚破損のある本などをリサイクル本として利用者の皆様に無償で提供しています。毎月、休館日の翌日、リサイクル本を2階のオレンジゾーン掲示板前に出しています。ご自由どうぞ。

日比谷 カレッジ報告 12月13日(金)

千代田区・米国大使館 第2回アメリカンシエルフ講演会

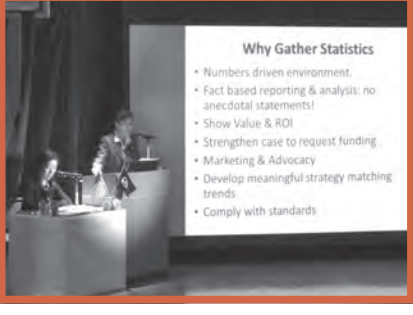
「アメリカの公共図書館におけるトレンド分析とマーケティング」

講師: アルカ・パトゥナガール (米国大使館広報文化交流部情報資料担当)

図書館の役割が「本の保管庫」から人を中心に「コミュニケーションの連鎖」を繋いでいく「コミュニティハブ」へ変換する中、具体的なマーケティング調査を行ったリ、裕福なセーブを図書館サポーターとして起用するなど、アメリカ的な取り組みも紹介されました。

米国大使館から寄贈いただいた本を集めた「アメリカンシエルフ」は2階オレンジゾーン奥にあります。

「利用者が何を欲しているか?」データ分析・数値化することで、それに沿ったサービスを提供するという話も。



Why Gather Statistics

- Numbers driven environment.
- Fact based reporting & analysis: no anecdotal statements!
- Show Value & ROI
- Strengthen case to request funding.
- Marketing & Advocacy
- Develop meaningful strategy matching trends.
- Comply with standards

2月の展示情報

※展示内容は変更する場合がございます。

2F オレンジゾーン 『物流×消費2014 ～モノの流れの明日を読む～』
国際的な課題と地域的な課題が交差する物流と消費について考えるための本を集めました。
■「UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄」
■常設展示▶「アメリカンシエルフ」

2・3F ホール 千代田区立図書館 巡回展示
「『週刊読書人』の紙面でたどる 記憶に残る本と時代」(2月中旬～)

3F ブルーゾーン 「解説で選ぶ本」
普段、何気なく目にして「解説」に焦点を当て、タイトルや著者名からではない、「第三者の目」から選ぶ読書を提案します。

3F グリーンゾーン 「美しい終わり方」(2月中旬～)
“看取る側”の心構え、できていますか? 人生の最期について、送られる側だけでなく、見送る者の視点からも考える本を集めました。
■「グリーン・イノベーション～環境と接続可能な社会の実現に向けて」

2F パープルゾーン

【江戸・東京の本】の本を集めたゾーン
「傍楽ことと生きること 江戸ユートピア」

江戸時代の日本を訪れた外国人からは、日本はユートピアのように見えたと言います。人々はみな礼儀正しく勤勉、生活は資源を上手に利用して簡素ながらも豊か。当時の市井の暮らしをエコロジー面と、外国人の視点から見たライフスタイルを中心に、絵・写真等を交えてご紹介します。

暮らしの美学

江戸のごと

外国人から見たニッポン

武士道!

文化財企画展 関連本展示
「千代田“新発見”-新収蔵・新発見資料展」(三角台)

昔の生活道具、神田祭、山車人形、民間信仰など、1階の文化財企画展に連動した本を紹介いたします。企画展をより深く楽しんでいただくために、写真集や図録などビジュアルで楽しめる本を中心に展示します。

常設展示「日比谷図書館の歴史」「太田道灌コーナー」

わたしの一冊

「シェイクスピア&カンパニー書店の優しき日々」
ジェレミー・マーサー 著

パリで現在も営業を続けている伝説の本屋。そこは書棚の間にベッドが点在し、貧しい物書きや旅の若者が無料で泊まれる。流れる者ホテルでもある。店主のモットーは「見知らぬ人に冷たくするな、変装した天使かもしれないから」。世界中から雑多な人が集まる書店の個人的な住人や店員との友情、恋模様も楽しい。訪問したら住み着いてしまってもいいかも。

当館スタッフの推薦本を紹介します。
【おすすめる本】
図書フロアスタッフ 川崎亜利沙

河出書房新社 2010年
TIME WAS SOFT THERE
シェイクスピア&カンパニー書店の優しき日々
A Paris Sojourn at Shakespeare & Co.
ジェレミー・マーサー 著
Jeremy Mercer



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

新発見

平成25年度文化財企画展

千代田 新収蔵・新発見資料展

入場無料

※期間中に資料の展示替えを行います。

千代田区による歴史民俗資料の収集は、昭和47年(1972)に始められました。それから40年が過ぎ、現在も収集を続けています。本展示では、近年の資料収集や資料調査の成果を広く知っていただくため、「新収蔵」(平成18年度以降の収集)と「新発見」(調査で新たに明らかになった資料)に分けてそれぞれの資料を展示・公開いたします。本展示を通して、身近な生活のなかに存在している、あるいはかつての生活のなかに存在した資料から皆さんの「新発見」を見出す機会となれば幸いです。

◆平成26年1月27日(月)～3月3日(月)◆
開室時間: (月)～(土)10:00～18:00
(日・祝10:00～17:00)(2月17日(月)は休館日)

講演会 ● 平成26年2月15日(土) 14:30～16:30
「三谷家日記にみる日本の近代」
講師: 吉良 芳恵 (日本女子大学 文学部教授・千代田区文化財保護審議会委員)

講座 ● 平成26年2月22日(土) 14:30～16:30
「旗本・勤番武士のみた江戸」
講師: 滝口 正哉 (東京都公文書館 専門員)

上記いずれも
■定員:60名 ■受講料:200円 ■会場:日比谷図書文化館4階 小ホール

【申し込み】電話・Eメールのいずれかにて氏名・ご住所・電話番号を明記のうえ、下記までお申し込みください。定員に達し次第受付終了となります。
日比谷図書文化館 文化財事務室
電話:03-3502-3348(月～金 8:30～17:00) Eメール:rekimin@vesta.ocn.ne.jp

展示解説

以下の日程で、担当学芸員が展示解説を行います。(所要時間40分程度・予約不要) 時間になりましたら、特別展示室の入口付近にお集まりください。

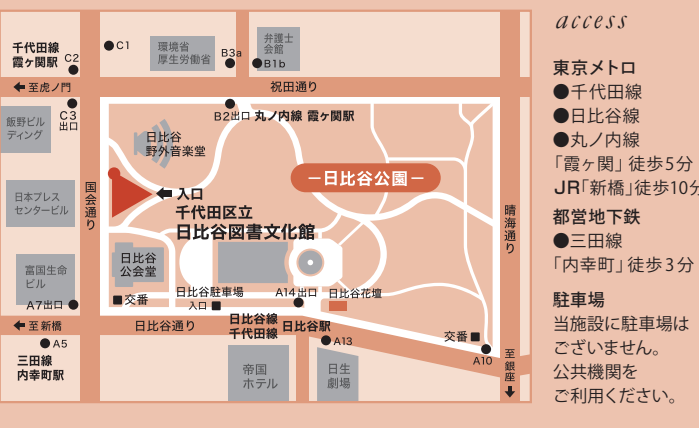
- 2月3日(月) 15:00～
- 2月15日(土) 13:00～
- 2月22日(土) 13:00～
- 3月3日(月) 15:00～

calendar

開館時間: 平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時、休館日

| 2014年 2月 | | | | | | | 2014年 3月 | | | | | | |
|----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | | | | | 30 | 31 | | | | | |

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



access

東京メトロ
●千代田線
●日比谷線
●丸ノ内線
「霞ヶ関」徒歩5分
JR「新橋」徒歩10分
都営地下鉄
●三田線
「内幸町」徒歩3分

駐車場
当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

2/5 (水) ほか 『【実践シリーズ】イノベティブ・デザイン思考 -「人のつながり」をデザインする』※全3回シリーズ

講師：石橋 金徳 (慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特助教授)
富田 欣和 (慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員)
麻生 陽平 (慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員)

ビジネスパーソンを対象に、新たな視点で創造的な答えを導くイノベティブ思考を学ぶ実践シリーズ第2弾。3回のワークショップを通して集合知を活かし、新たなテーマに新たな手法を交え、アイデアやコンセプト創造などより実践を意識したプロセスと手法を学べます。(主催：イノベティブ・デザインLLC)

■日時：第1回 2月5日(水)、第2回 2月19日(水)、第3回 3月5日(水)
いずれも19:00～21:00(18:30より受付)
■会場：4階 セミナールームB(会議室) ■定員：24名 ■参加費：10,000円(全3回分)



2/6 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第6回 久米邦武と吉田東伍 -明治の歴史家が編んだ近代日本の教養-

講師：森田 健太郎 (日比谷図書文化館特別研究室ナビゲーター)

『米欧回覧実記』を著した久米邦武と『大日本地名辞書』を著した吉田東伍は、父と子ほどの歳の差がありながらも、互いに歴史研究に切磋琢磨し、日本の伝統芸能である能楽の再興にも尽力しました。このセミナーでは、「和魂洋才」的教養を代表する二人の書物と交流についてお話しします。

■日時：2月6日(木) 19:00～21:00(18:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名
■参加費：500円(千代田区民無料) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



2/11 (火) ピースビレッジ第20回 世界連邦21世紀フォーラム設立6周年記念講演 「世界創造マップ Ver.1.0」

講師：木戸 寛孝 (NPO法人世界連邦21世紀フォーラム 理事長)

社会は閉塞感が覆っていますが、それは「新たな社会が生まれ出る前兆」として見ることもできます。私たちを取り巻く世界を11の階層に分け、各階層で生じる「矛盾」を「新たな世界が生みだされる可能性の最前線」として捉え、これから起きるであろう社会変革を洞察します。(主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム)

■日時：2月11日(火) 14:00～16:30(13:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円

特別研究室企画展示 開催中～3月16日(日)

「近代日本を支えた江戸・明治の教養」第2部「和魂洋才-明治時代の日本人が希求した新しい日本のための書物」

明治時代、近代化を目指した日本では、西洋の文化や科学技術を吸収しつつ、日本独自の教養の構築を目指す「和魂洋才」の流れがありました。明治初期には『米欧回覧実記』に代表される、「西洋を学ぶ」書物が、また明治後期に入ると、「学びから創造」への集大成として、百科事典などの近代的な書物が日本人の手によって次々と出版されます。本展では、特別研究室の蔵書から、「坂の上の雲」の時代の日本人が編纂した教養書の数々を紹介いたします。



▲パリ・コンコルド広場のオペリストク(『米欧回覧実記』)

お問い合わせ等は特別研究室 (03-3502-3340/内線429) までお願いいたします。

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/12 (水) シリーズ「文化資源の愉しみ方」第1弾 『響夜学～経営と文化のいい関係を考える～』 第3回「宝塚歌劇100年～東京宝塚劇場を中心に～」

講師：久保 孝満 (阪急電鉄株式会社創造事業本部歌劇事業部・東京宝塚劇場総支配人)

兵庫県の鄙びた温泉地に「宝塚歌劇団」が誕生して100年を迎えます。阪急電鉄を創業し、大衆の生活向上、文化向上を常に考えていた小林一三が、「老若男女誰もが楽しめる国民劇」をめざし創設された宝塚歌劇は、いまや日本のみならず海外にも広くファンを獲得しています。鉄道会社がこうした劇団を保有し続けるのは、宝塚歌劇が一世紀にわたって続いてきたのはなぜでしょうか。会社経営と劇団興行との関係性から、文化と経済のあるべき関係を考える、シリーズ最終回！(主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構/企画：連想出版)

■日時：2月12日(水) 講演：19:00～20:00(18:30より受付)
懇親会：20:15～21:15
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：40名 ■参加費：3000円(懇親会費用含む)



2/21 (金) データベース講座 JP-NETで特許情報の調べ方を学ぶ

講師：長瀬 徹哉 (日本パテントデータサービス株式会社)

当館で利用できるオンラインデータベースJP-NETでは、日本や海外の特許情報を調べることができます。このJP-NETの使い方や特許情報の基本的な調べ方について学んでいただく講座です。



■日時：2月21日(金) 19:00～20:00(18:30より受付)
■会場：3階 ライブラリープラス
■定員：10名
■参加費：無料

3/14 (金) The Sankei Archivesで産経新聞の記事検索とデータベースについて学ぶ

講師：石毛 紀行 (株式会社産経デジタル)

オンラインデータベースThe Sankei Archivesでは、産経新聞の記事を検索することができます。この講座では新聞記事の検索方法だけでなく、データベースとインターネットでの検索との違いなどについても解説します。

■日時：3月14日(金) 19:00～20:00(18:30より受付)
■会場：3階 ライブラリープラス ■定員：10名 ■参加費：無料

2/26 (水) 読書の醍醐味～プロフェッショナルの読書習慣～ 第2回 資料の一行からドラマを作る

講師：山本 むつみ (脚本家)

読書のプロフェッショナルをお招きし、読書の醍醐味と専門家の読書習慣を披露いただく全3回講座。第2回は、連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」や、NHK大河ドラマ「八重の桜」の脚本家である山本むつみ氏より、一行の記録からいかにしてドラマを作っていくのか、必要な本を探し当てるためのコツは何か、などについてお話いただきます。(主催：公益財団法人上廣倫理財団)

■日時：2月26日(水) 18:30～20:00(18:00より受付)
■会場：地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。



2/27 (木) 第22回江戸歴史講座(柳沢吉保没後300年回顧) 文化都市・江戸の誕生 -柳沢吉保の素顔と「首都東京」への道-

講師：島内 景二 (電気通信大学教授 博士(文学))

明治元年の東京遷都が可能だった背景には、江戸の文化が「千年の都」である京都に匹敵する水準に高められていたことがあげられます。この「文化都市・江戸」の誕生を主導したのは、元禄時代の政治家、柳沢吉保でした。今年2014年は、彼の没後300年にあたります。本講座では吉保を「卓越した文化プランナー」という観点から見直し、その人間像に新たな光を当てます。



柳沢吉保が造営した六義園

■日時：2月27日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
■参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

3/14 (金) 日比谷コトづくり塾 第6回 「やりがい」を「生きがい」にその種を育てよう～元気な若者は地域を元気にする～

講師：加留部 貴行 (九州大学大学院統合新領域学府客員准教授) 岡 幸二郎 (俳優・九州大谷短期大学表現学科演劇放送フィールド非常勤教員) 定野 司 (足立区総務部長・足立区ビューティフルウィンドウズ運動推進本部長) 岩田 勉 (小学館レクリエーションリーダーズクラブ代表) 納富 洋子 (ラ・プレリージャパン(株)人事部HRマネージャー)

「日比谷コトづくり塾第6回」では、人材育成、特に「地域を元気にする若者」の育成に焦点をあてます。内容は基調講演とパネルディスカッション。パネルは、様々なジャンルで「地域を元気にする若者」の育成に取り組まれている方々をお迎えします。コーディネーターは九州大学大学院客員准教授の加留部貴行氏。(主催：一般社団法人 日本経営協会)

■日時：3月14日(金) 13:30～16:30(13:00より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：5250円



3/14 (金) 千代田区民講座 地球を元気にする人々～平和を願う世界的著名人のポートレートと体験談～

講師：薄井 大還 (写真家)

ネルソン・マンデラ、ダライ・ラマ14世、マザー・テレサ、アウンサンスーチー、三浦雄一郎、ゴルバチョフ元大統領、など、激動に生きる世界的著名人を撮り続ける写真家 薄井大還氏。被写体と直面して魂の動きを記録する芸術(ポートレート)について、さらにその視線の先にあるものについて熱く語っていただきます。(主催：神田雑学大学)



©TAIKAN USUI

■日時：3月14日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料
※2月5日(水)から千代田区民先行受付開始。(区民以外は12日(水)から受付開始)

3/16 (日) 世界の図書館シリーズ 「シンガポールを中心に東南アジアの図書館事情」

講師：宮原 志津子 (相模女子大学講師)

シンガポールでは、図書館は情報や文化、生涯教育の拠点として、国家開発を担う一翼としての使命を与えられています。シンガポールの図書館改革の背景と改革後の状況を中心に、現地の大学で調査研究、公共図書館の勤務経験を持つ講師が、東南アジア地域の図書館事情なども交えてお話しします。

■日時：3月16日(日) 14:00～16:00(13:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

3/19 (水) 千代田区民講座 <音のサロン> 第7回 「女子ジャズ～新しいジャズの聴き方・楽しみ方～」

講師：島田 奈央子 (音楽ライター)

“女子ジャズ”ブームの火付け役となった音楽ライターの島田奈央子さんを講師に迎え、新しいジャズの聴き方・楽しみ方をご提案いただきます。保守的なジャンルの枠にこだわらない島田さんらしい“サムシング・ジャズ”(ジャズっぽい音楽)な選曲をされた楽曲を、ハイエンドオーディオでお楽しみください。(共催：日本オーディオ協会、日本レコード協会)



■日時：3月19日(水) 18:30～20:15(18:00より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料
※1月31日(金)まで千代田区民先行受付期間(区民以外は2月1日(土)から受付開始)

3/20 (木) インターメディアテク×日比谷図書文化館 展覧会への入口講座 Vol.6 「JPTower学術文化総合ミュージアム インターメディアテク」の施設づくり

講師：洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館特任教授)

知的好奇心を喚起させるミュージアムの力とそれを具現するための企画、制作サイドの思い、スキルなどについて、日本郵便と東京大学総合研究博物館の協働でJPTower内に誕生したミュージアム「インターメディアテク」の構想から完成までのドキュメントを通じてお話します。



Museography ©UMUT works 2013

■日時：3月20日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
■参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

◆文化財企画展 「千代田“新発見”-新収蔵・新発見資料展-」より

本展示からオススメの資料を1点紹介します。これ、何かわかりますか？実は洗濯機なのです。日本における電気洗濯機は、大正年間にアメリカから輸入販売が始まり、昭和5年に国産第1号が開発されました。現在と異なり、開発初期は丸型洗濯機が主流だったようです。これまでの洗濯に比べたら夢のような道具だったのですが、実際は少量しか入らず脱水機能もついていません。さらに、当時は、洗濯機を外に出して洗濯し、終わると室内にしまったという家庭も多かったようです。本資料は、人々が家電にあこがれた時代の思い出の生活道具といえましょう。

